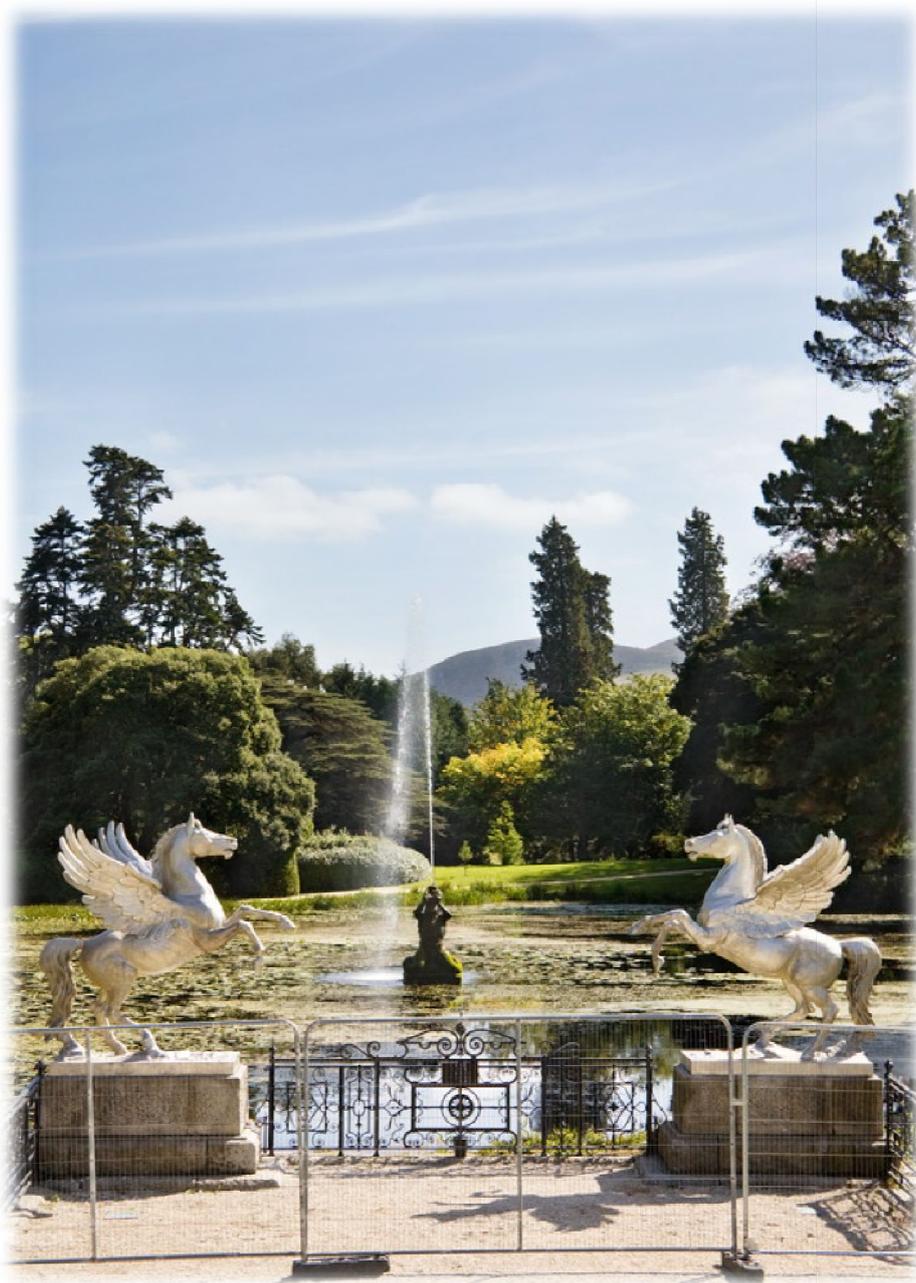


# 種牡馬選定報告書



制作・編集 ペガサス・ビューロー

※9代クロス馬分析表は『9代クロスWEB』（©2013 Pegasus Bureau）により出力しています。

## 繁殖牝馬●●● 種付け候補種牡馬選定

### ■繁殖牝馬としての●●●

前面でクロスしやすいのはサンデーサイレンスーHalo、Mr. Prospector、デインヒルーDanzig あたりで、どちらかといえば米系の影響力が強くなりやすい構造となっている。この点を考慮すると、母自身と同様、産駒の配合もスピード優位の形態が多くなりそう。

●●●は欧米どちらの系統も含んでおり、スピード系、スタミナ系ともに質が高い。また、血の世代は現代の種牡馬と合わせやすいが、マンハッタンカフェの母系に配置されたドイツ系を再現することが難しく、さらに血の統一性を欠きやすいこともあり、上級配合の実現はやや難しい血の構造であることは否めない。

もう一つ注意したいのは、前面に配置された主流系統が複数クロスとなるケースが非常に多く見られるが、この場合、仕上げにくさを伴うタイプや、芝での切れが不足するタイプとなりやすいこと。

そのため、サンデーサイレンスのクロスを活用するか、Mr. Prospector と Secretariat クロスで Gone West を強調した形態とするか、あるいはデインヒルーDanzig 系を主導とするか、いずれかをはっきりさせた形態が望ましい。

### ☆選定基準

種付け料 700 万以下の種牡馬につきましても、来年以降に値下げの可能性を考慮して診断対象に含めましております。ただし、今回の種付け推奨種牡馬につきましても、種付け料 300 万円台を上限として選んでいます。

### ▼社台SS

- アドマイヤマーズ (250) △
- イスラボニータ (150) □
- オルフェーヴル (350) ○
- キタサンブラック (500) □
- キンシャサノキセキ (Private) □
- クリソベリル (300) □
- サトノアラジン (100) □
- サトノクラウン (100) △

サトノダイヤモンド (300) □  
サートゥルナーリア (700) □  
シスキン (300) □  
スワーヴリチャード (200) □  
ダイワメジャー (Private) △  
ダノンキングリー (250) □  
ドレフォン (700) □  
ナダル (400) △  
ニューイヤーズデイ (250) □  
ハービンジャー (400) □~○  
ブリックスアンドモルタル (600) □  
ポエティックフレア (600) △  
マインドユアビスケッツ (200) □  
ミッキーアイル (250) □  
モーリス (700) □  
リアルスティール (250) □  
ルヴァンスレーヴ (250) □  
ルーラーシップ (400) □~○  
レイデオロ (700) □  
レッドファルクス (80) □  
ロゴタイプ (80) △

### ▼ブリーダーズSS

アルアイン (120) □  
アンライバルド (20) □  
キセキ (80) △  
グレーターロンドン (50) □  
コパノリッキー (150) □  
サトノアレス (50) △  
ジャスタウェイ (200) □  
シュヴァルグラン (80) □  
ストロングリターン (80) □  
セイントアレックス (20) △  
ダノンスマッシュ (220) □~○  
ディープブリランテ (50) □

トーセンラー (50)      △  
フィエールマン (200)   □～○  
フォーウィールドライブ (100)   △  
ブラックタイド (200)   △  
マテラスカイ (100)   □  
ラブリーデイ (80)   □  
リオンディーズ (400)   □

▼その他

マジスティックウォリアー (イースト、180)   △  
ノヴェリスト (レックス、50)   □  
シニスターミニスター (アロー、350)   □～○  
ビッグアーサー (アロー、100)   □

## ■種付け候補種牡馬との配合診断

種牡馬名 オルフェーヴル 参考種付け料 = 2022 年度 350 万円

評価ランク A

距離適性 芝 8~10F ダ 7~9F

### 《チェック項目》

- |           |                             |         |                          |
|-----------|-----------------------------|---------|--------------------------|
| ① 主導明確性   | <input type="radio"/>       | ■ 芝適性   | <input type="radio"/>    |
| ② 位置・配置   | <input type="checkbox"/>    | ■ ダート適性 | <input type="radio"/>    |
| ③ 血の結合度   | <input type="checkbox"/>    | ■ 日本適性  | <input type="checkbox"/> |
| ④ 血の集合力   | <input type="checkbox"/>    | ■ 成長力   | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ 弱点・欠陥   | <input type="radio"/>       |         |                          |
| ⑥ 影響度バランス | <input type="radio"/> ⑥④⑤②  |         |                          |
| ⑦ 種類・数    | <input type="checkbox"/> 57 |         |                          |
| ⑧ 質・再現度   | <input type="checkbox"/>    |         |                          |
| ⑨ 流れ・統一性  | <input type="checkbox"/>    |         |                          |
| ⑩ スピード要素  | <input type="checkbox"/>    |         |                          |
| ⑪ スタミナ要素  | <input type="checkbox"/>    |         |                          |

### 《プロフィール》

サンデーサイレンス 3×3 (単一) を呼び水として、Northern Dancer 5・6×6 の系列ぐるみにより全体をリード。近親形態ではあるが、前面に余分なクロスの派生はなく、シンプルかつバランス良くまとめられた点に魅力のある血統構成となっている。

際立つスピード・スタミナはないもが、父内メジロマックイーンの持つスタミナ要素をかくし味的に活用できたことや、配合の難しい母の父マンハッタンカフェの母系に不備を生じなかった点にも妙味がある。

ノーザンテースト 4×3 により血をまとめていた父オルフェーヴルの特徴を受け継ぐ内容ではなく、父母の傾向が必ずしも一致していないため、上位クラスに入った際の決め手に不安を残すことは否めない。

とはいうものの、生きている血の傾向からすると、芝・ダートともに対応可能で、スピード・スタミナのバランスも整っているため、開花後は中堅級以上で安定した走りを見せても不思議はないだろう。この母に対する今回の種付け候補種牡馬の中で、理論上はもっとも無難な相手といえる。

## ■種付け候補種牡馬との配合診断

種牡馬名 **ダノンスマッシュ** 参考種付け料 = 2022 年度 220 万円

評価ランク **B**

距離適性 芝 6 ~ 8 F ダ 6 ~ 7 F

### 《チェック項目》

- |           |                               |         |                          |
|-----------|-------------------------------|---------|--------------------------|
| ① 主導明確性   | <input type="radio"/>         | ■ 芝適性   | <input type="radio"/>    |
| ② 位置・配置   | <input type="checkbox"/>      | ■ ダート適性 | <input type="radio"/>    |
| ③ 血の結合度   | <input type="radio"/>         | ■ 日本適性  | <input type="checkbox"/> |
| ④ 血の集合力   | <input type="checkbox"/>      | ■ 成長力   | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ 弱点・欠陥   | <input type="checkbox"/>      |         |                          |
| ⑥ 影響度バランス | <input type="checkbox"/> ⑥⑪③⑮ |         |                          |
| ⑦ 種類・数    | <input type="checkbox"/> 57   |         |                          |
| ⑧ 質・再現度   | <input type="checkbox"/>      |         |                          |
| ⑨ 流れ・統一性  | <input type="checkbox"/>      |         |                          |
| ⑩ スピード要素  | <input type="radio"/>         |         |                          |
| ⑪ スタミナ要素  | <input type="checkbox"/>      |         |                          |

### 《プロフィール》

Mr. Prospector 5・5×4の系列ぐるみを主導として、Danzig 4×5や Secretariat (= Syrian Sea) 6・7×5の系列ぐるみによりスピードをアシスト。スタミナは Nashua、Nijinsky、His Majesty (= Graustark)、Princequillo などが生きている。

シンプルさを欠くことや、影響度数値⑥⑪③⑮が示すほどのバランスを保てなかったことは惜しまれるが、クロス馬の結合状態は悪くない。そして何より、強調された祖母内 Gone West やデインヒルの血の再現状態に見どころがある。

オルフェーヴルとの配合と比べると評価自体は多少劣るものの、父母の特徴は比較的うまく捉えられており、きっちり仕上がった際の意外性という意味ではこちらが上といってもよいだろう。

距離延長への対応は割引が必要だが、早期に仕上がり 2 歳戦から能力発揮が可能なタイプで、芝・ダート兼用資質も備わっている。好調期の粘り強い先行力を持ち味としたスプリンター、マイラーに育つ可能性を秘めた配合内容と判断される。

## ■種付け候補種牡馬との配合診断

種牡馬名 シニスターミニスター 参考種付け料=2022年度 350万円

評価ランク B

距離適性 芝6~9F ダ6~9F

### 《チェック項目》

- |          |                             |        |                          |
|----------|-----------------------------|--------|--------------------------|
| ①主導明確性   | <input type="checkbox"/>    | ■芝適性   | <input type="checkbox"/> |
| ②位置・配置   | <input type="checkbox"/>    | ■ダート適性 | <input type="radio"/>    |
| ③血の結合度   | <input type="checkbox"/>    | ■日本適性  | <input type="checkbox"/> |
| ④血の集合力   | <input type="checkbox"/>    | ■成長力   | <input type="checkbox"/> |
| ⑤弱点・欠陥   | <input type="checkbox"/>    |        |                          |
| ⑥影響度バランス | <input type="radio"/> ⑦⑥⑥⑨  |        |                          |
| ⑦種類・数    | <input type="checkbox"/> 59 |        |                          |
| ⑧質・再現度   | <input type="checkbox"/>    |        |                          |
| ⑨流れ・統一性  | <input type="checkbox"/>    |        |                          |
| ⑩スピード要素  | <input type="radio"/>       |        |                          |
| ⑪スタミナ要素  | <input type="checkbox"/>    |        |                          |

### 《プロフィール》

Mr. Prospector 5×4（中間断絶）を呼び水として、Secretariat 5×5の系列ぐるみにより全体をリード。これに Hail to Reason、Boldnesian、My Babu などのスピードをアシストした配合形態。

影響度数値⑦⑥⑥⑨と好バランスを保つことや、強調された祖母内 Gone West、父内 A. P. Indy の血が全開している点に見どころがあり、祖母内 Gone West への血の集合も悪くない。

惜しまれるのは父母双方に弱点を生じ、血の統一性にも欠けること。そのため、芝に対応する素軽さ・切れが不足することは否めないが、父のイメージ通りダート適性は十分に備わり、この路線ならば中堅級以上で安定した走りを見せる可能性を秘めている。

主導 Secretariat の母系も系列ぐるみとなってスタミナを補給していることから、距離の融通が利くタイプと推測され、現状のダート系種牡馬の中でこの母との相性は上位ランクの相手と判断される。

## ■種付け候補種牡馬との配合診断

種牡馬名 **フィエールマン** 参考種付け料 = 2022 年度 200 万円

評価ランク **B**

距離適性 芝 9～11 F ダ 7～9 F

### 《チェック項目》

- |           |                             |         |                          |
|-----------|-----------------------------|---------|--------------------------|
| ① 主導明確性   | <input type="checkbox"/>    | ■ 芝適性   | <input type="radio"/>    |
| ② 位置・配置   | <input type="checkbox"/>    | ■ ダート適性 | <input type="checkbox"/> |
| ③ 血の結合度   | <input type="checkbox"/>    | ■ 日本適性  | <input type="checkbox"/> |
| ④ 血の集合力   | <input type="checkbox"/>    | ■ 成長力   | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ 弱点・欠陥   | <input type="checkbox"/>    |         |                          |
| ⑥ 影響度バランス | <input type="radio"/> ⑧⑤⑥⑦  |         |                          |
| ⑦ 種類・数    | <input type="checkbox"/> 56 |         |                          |
| ⑧ 質・再現度   | <input type="radio"/>       |         |                          |
| ⑨ 流れ・統一性  | <input type="checkbox"/>    |         |                          |
| ⑩ スピード要素  | <input type="checkbox"/>    |         |                          |
| ⑪ スタミナ要素  | <input type="checkbox"/>    |         |                          |

### 《プロフィール》

サンデーサイレンス 3×3 は単一、Mr. Prospector 5×4 は中間断絶で、いずれも影響力はやや弱まっており、全体をリードするのは Nijinsky 5×6 の系列ぐるみ。必ずしもシンプルな形態とはいえないが、影響度数値⑧⑤⑥⑦とバランスはしっかり整っている。

この配合の見どころは、強調された父の母内 Green Tune（仏 2000 ギニー、イスパーン賞）のスピード・スタミナが全開していること。父フィエールマンは天皇賞・春を連覇するなど、芝中長距離路線で実績を残したが、この配合はそのイメージほどスタミナ優位の内容ではなく、適性は芝中距離と判断される。

オルフェーヴルとの配合と同様、これぞというスピード・スタミナ要素を持つわけではないが、配合の難しい父の母系 Luth d'Or の血がうまくまとめられている点にも妙味があり、好調期に平均ペースのレースでしぶとい末脚を使えるタイプ。

この母への交配相手として、ディーブインパクトとの後継種牡馬を狙うのであれば、フィエールマンは十分に選択可能な種牡馬といえる。